【小学校·中学校·義務教育学校用】

令和3年度学校評価 計画

4 重点取組内容・成果指標 (1)共通評価項目 重点取組 具体的取組 評価項目 取組内容 展、末担機 (数値目標) ●学力向上対策影師シートに示したマイブランの成 果指標を達成した教師80%以上 ○授業作りステップ・2・3のチェックシートを授業力 ●全職員による共通理解と共通実践 ・「スキルタイム」「もくもくタイム」の充実 ・少人数指導・TTによる指導の充実 ・授業作りステップ1・2・3の活用 ・家庭学習重点シートを用いた家庭学習の振り ・授業改善 ・家庭学習の徹底 上に役立てたと回答する教師90%以上 学校評価アンケートによる家庭学習の徹底率9 ○学校評価アンケートによる家庭宇宙の塚地キョ ○学力状況課後「寮政制・CRITテA(寮教制・における思考 カ・判断か・表現力等の正音を手展・野北を上居ら、 ○算数の市版テストの思考か・判断か・表現力等の正答率の 下窓の94以上 ○年額の学級平均80冊以上 ●学力の向上 ○(学校独自重点取組・任意) ・学びをいかす力の育成 ・読書の推進 ●児童生徒が、自他の生命を尊重する ○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回 心、他者への思いやりや社会性、倫理 観や正義感、感動する心など、豊かな心 を身に付ける教育活動 「特別の教科 道徳」の研修を深め、教科書や教材 はいると、これでは、ないですがない。 とせる。 ・人権集会を行ったり、人権標語を書いたりすること で、人権について考える機会を持つ。 ●いじめの早期発見、早期対応体制の ●心の教育 〇特別支援学級在籍児童、通級指導教室 利用児童、診断を有する児童について、個 別の支援計画・指導計画の作成100% 本校の職員に向けた特別支援学級の授業 〇特別支援教育の充実 つ職員研修の充実 公開を年1回行う。 ◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実 現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動 ・児童生徒の資質・能力を育む授業づくりに関する校内研修 7次重主ない負債*能力学日も区米・ハウー(両するなか可能等の実施する。 ・年間や学期ごとのめるてや振り返りのためにキャリア・(ス・ ボートを活用する。 ・日都を持って中学校に進載するための交流体験や、各種体 搬活動においては、児童生徒の活動の見通しと学びの振り返 りを行う活動を仕組む。 ・体育の授業例や学習カード、がんばりカードなどを担任に紹介し、それを活用した授業を行う。 ・屋休み等の外遊びや体育館での遊びを勧め、担任も1週間に1度は一緒に遊ぶよう努める。 ・体育委員会や適営委員会で学校の児童みんなで遊ぶ機会を設ける。 ●アンケートで、「体育や運動が楽しい」 と答える児童が全学年90%以上 ●「運動習慣の改善や定着化」 ●健康・体つくり 〇「望ましい食習慣と食の自己管理能力 の育成」 ・ の育成」 ・食育に関する授業を通して、食の大切さに触れる機 会を作る。 ・食育を実践するよう、担任への呼びかけを行う。 ・給食週間等で、給食のよさを伝えたり、残食調べを したりして、給食を残さず食べる意識を高める。 ● 業務効率化の推進と時間外勤務時間 の削減 ・前年度の時間外在校等時間とを比較 ・前年度の時間外在校等時間とを比較 ・指生委員会等を活用) ・定時退動日実施を徹底する。 ・無表方数 直に対けた 即斜ができたと し、働き方改革にむけた取組ができたと 回答する教職員90%以上。 ●業務改善・教職員の働き 方改革の推進 〇残業時間の短縮 〇19時まで(定時退勤日は18時)に退 勤可能な職員を目指す ・更なる仕事内容の精選。 ・学年で教材の共有による仕事の分担 をする。 ・仕事の優先順位の明確化。

重点取組			
評価項目	重点取租内容	成果指標 (數值目標)	具体的取組
★小中一貫教育の充実	★教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の 授業公開学級率80%以上 ★保護者等に対する教科「日本語」に係る 情報を年間3回以上公開した学級率80%	・授業参観で教科「日本語」の授業を公開する。 ・学年便り、学級便り等で、教科「日本語」の 授業で学習した内容を保護者に知らせる。
〇小中一貫教育の充実	○児童の学びと体と心の充実	○度議者による学校評価アンケートで「ホーー養意賞に致 組入でいることを知っている」の画者を95%以上です。 ○小中台目所修会で児童生徒理解が選まったと目答する教 身を95%以上にする。 ○「スポーツテストや体育料の授業を通して、次年度や中学 校につながる技能を身に付けさせることができた」と目答する 教員を90%以上にする。	・授業の約束や家庭学習の手引き等を小中で 誰し、授業規律の態を授業改善を行う。 ・書面報告やズーム研修会を取り入れながら、 小中合同研修会を6回開催し、連携を密に行う
〇開かれた学校の推進	○コミュニティ・スクールの活用	〇コミュニティ・スクールの活動が高まったと感じた教職員・保護者・学校運営協議会委員の回答率80%以上	・学校行事等の積極的な協力依頼(お茶摘み) 験、運動会、交通安全教室、生活料・総合的な 学習等の学習支援) ・「基里っ子見守り隊」による登下校の安全確停 ・学習環境面の支援 ・「活動についての情報公開(コミュニティ便り、 HP、まちこみメール配信等)

●…県共通 ★…鳥栖市共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育